

- 1) 「Parkinson 病及び Alzheimer 病ディメンジョンを対象とした包括的神経画像研究(通称: PADNI: Parkinson's and Alzheimer's disease Dimensional Neuroimaging Initiative)」
- 2) 「PADNI を含む高齢者神経疾患の大規模画像研究の基盤となるデータベース構築及び活用法の開発研究」

アルツハイマー病 (AD) 患者におけるガランタミン投与の脳ネットワークトポロ

ジーに及ぼす影響: AD の薬物療法に対する新しいバイオマーカーとしての可能性

The effects of galantamine administration on brain network topology in patients with Alzheimer's disease (AD): A possible new biomarker for pharmacotherapy of AD

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い

アルツハイマー病 (AD) 患者におけるガランタミン投与の脳ネットワークトポロジーに及ぼす影響: AD の薬物療法に対する新しいバイオマーカーとしての可能性 The effects of galantamine administration on brain network topology in patients with Alzheimer's disease (AD): A possible new biomarker for pharmacotherapy of AD

へご参加いただきありがとうございます。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

- 1)「Parkinson 病及び Alzheimer 病ディメンジョンを対象とした包括的神経画像研究(通称: PADNI: Parkinson's and Alzheimer's disease Dimensional Neuroimaging Initiative)」
- 2) 「PADNI を含む高齢者神経疾患の大規模画像研究の基盤となるデータベース構築及び活用法の開発研究」

【研究責任者】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

アルツハイマー病とパーキンソン病関連疾患には共通する症候や危険因子が多く存在することがわかってきていますが、それぞれの病気を表す脳の状態が同じであるのか、異なっているのかはよくわかっていません。今回の研究では、磁気共鳴画像装置 (MRI) を撮影し、通常病院で用いられるより詳細な画像解析をさせていただき、神経の病気であるアルツハイマー病とパーキンソン病関

連疾患の病気の成り立ちの共通点ならびに相違点を理解し、それぞれの病気あるいは両方の病気にかかっている方を診断するために、役立つかどうかを調べることを目的としています。また、それぞれの病気のリスクを持っているかもしれない方や健康な方との比較を行うことで、ごく初期に起こる脳の状態の変化を見つけ、加えて、病気のリスクを持っているかもしれない方の経過を追っていくことで、早期発見、ひいては早期治療や根治につなげることも目的の一つとしております。

さらに、この研究では、MRIで撮像された脳画像、認知機能検査、神経心理学検査とこれに付随する臨床情報を多数例収載したデータベースを構築し、今後、神経疾患に関して大規模な病態解明研究を創出・推進するために基盤整備を行うことを目指しています。

このたびは、先日取得させていただきましたこのMRIデータ、認知機能検査、神経心理学検査ならびに臨床指標が、個人を識別できないようにした上で、アルツハイマー病やパーキンソン病関連疾患の方、それぞれの病気のリスクを持っているかもしれない方、特に疾患のない方との間であわせて解析されることがあることを、ご了承いただければと考えております。加えて、個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISSないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されることをご了承いただければと考えております。なお、これまでに測定したデータを使用させていただきますので、新たな検査をお願いすることはございません。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2015年8月21日～2019年3月11日までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターで「アルツハイマー病（AD）患者におけるガラントミン投与の脳ネットワークトポロジーに及ぼす影響：ADの薬物療法に対する新しいバイオマーカーとしての可能性」の研究に参加された方

利用する試料・情報等

試料:なし

情報等:MRI測定データ MMSE、ADASJ-cog等その他付属の評価項目情報

上記情報等は、完全に個人を識別できないようにした上で、アルツハイマー病やパーキンソン病関連疾患の方、それぞれの病気のリスクを持っているかもしれない方、特に疾患のない方との間であわせて解析されることがあります。

新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISSないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。また、共同研究機関内でのデータベース構築のために、共同研究機関である京都大学（研究責任者：村井俊哉 教授）、京都府立医科大学（研究責任者：水野敏樹 教授）、福島県立医科大学（研究責任者：宇川義一 教授）には、個人を識別できないようにしたMRI画像データとそれに伴う臨床情報をやりとりし、共有します。

研究期間

2018年11月21日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学	研究責任者	村井 俊哉	教授	
京都府立大学	研究責任者	水野 敏樹	教授	
福島県立医科大学	研究責任者	宇川 義一	教授	
東京大学	研究責任者	笠井 清登	教授	・ 小池 進介 准教授

2019年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206 (直通)

e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)